

担任：頼りになるなんて、自分で考えたこともなかったのかあ。そうかあ……………。新たな自分のよさがみつかったんだね。

それに、自分に自信が持てたんだあ……………。

ヒロミさんはどう？

ヒロミ：私も、ほめられて、ちょっと恥ずかしかったんですけど、他の人が私をよく思ってくれているみたいで、うれしくなりました。

担任：そうか。みんなが自分をよく思っていてくれるって、確認できたんだ。そうなんだ。

一同：（うなづく）

担任：ノゾミさんのグループは、大変盛り上がっていたようだけど、どうだった？

一同：（興味深そうにノゾミに注目）



ノゾミ：場を盛り上げる私のキャラクターを、貴重だってってもらい、ちょっぴり自信がわいてきました。

私は、この学級でよかったなって感じです。

一同：（うなづく）

：

### 3 学級活動を終えて

学級活動が終わって、タケシはシズカから、「私、みんなから、今日のゲームで自分のよい点に気づかされたみたいで、とてもうれしかったわ。」と話しかけられた。

それを聞いたタケシは、「そう、そうなんだよなあ……。誠実なんてうれしいなあ。」と納得顔で、つぶやいた。

そして、タケシは……………？

この日の放課後、タケシは、廊下で顔を合わせた担任に、「先生、今日は、考えさせられました。学級のみんなって、一人一人よさがあるんですよね。」と話しかけた。

担任も「うん、今日は、改めて先生も、考えさせられる点が多かったよ。学級って、どうなくちゃならないのかなあって……………」と。そして、タケシと顔を見合わせ、うなづいた。

※ 3回にわたって、『児童生徒相互の好ましい人間関係づくりをめざして』と題し、ゲーム（構成的グループ・エンカウンターエクササイズ）を取り入れた連載を行ってきました。

本連載に興味を持たれましたら、以下の文献を参照してください。

- 「エンカウンターで学級が変わる」小学校編・中学校編 國分康孝 図書文化 1996年
- 「構成的グループ・エンカウンター」國分康孝 誠信書房 1992年
- 「一人一人のよさや違いを認め合う学級の人間関係づくり（第1年次）」平成7年度福島県教育センター研究紀要（なお、平成8年度研究紀要は、平成9年5月発行予定です。）